# 「業務日誌」機能で情報共有

「台帳」を起動するとエクセルのリボンに「業務日誌」バーが追加されます。事務所内での手続き情報の共有のために活用して頂くためのツールです。



#### 業務日誌機能(入力/設定)

日々の業務に関する内容を記録し、事務所内で手続き内容や状況を把握できます。手続きに関する連絡を顧問 先から受けたらすぐに記録し、そのデータを基準にして、手続忘れや提出期限をしっかり管理します。 初期設定と運用(業務入力)については次ページをご覧ください。説明書からは、本マニュアルの業務日誌機能 がPDFファイルでご覧いただけます。

#### ● 電子申請(確認)

今日電子申請したデータ(送信済みリスト)の内容を表示します。フォーム左上の「本日送信データ」チェックをはずすと、今までに「台帳」で電子申請した全送信データが表示されます。表示されている「状況」は自動では変わりませんので、「台帳」内の電子申請画面(処理ファイル、またはすべての処理ファイルフォームの「e-Gov」ボタンより)で随時、申請済みリストを「更新」する必要があります。

#### ● 便利帳

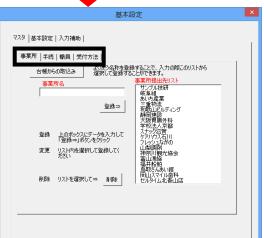
すぐに確認したい標準報酬月額表や通勤手当の非課税枠上限、年齢早見表などをすぐに表示して確認できます。終了時に保存確認のメッセージが表示される場合は、別段の変更を加えていなければ保存しないで終了します。

#### ● ツール

すぐに作成したい書類送付状やファックス送信表、宛名ラベルの印刷画面に切り替わります。ツールでは事業所を選択して「作成」すると事業所ファイル名の入った一覧表が作成されます。算定や年度更新などの管理表を作成にお使いください。ヘッダーは自由に変更できます。PDF作成は、画面上に表示されているエクセルシートをPDFファイルに出力します。エクセルシートに印刷範囲が設定されていれば、その設定が反映されて出力されます。プリンターは、印刷したいプリンターを切り替えます。

# 業務日誌の基本設定と入力





# 業務日誌を使い始めるにはまず「基本設定」から

「マスタ」タブから、業務日誌に登録する際に使用する事業所、手続、 職員、受付方法を登録してください。事業所、職員は業務日誌を使い 始めるうえで必須項目になります。

初期設定時には、サンプルデータが登録されています。

## ①台帳に登録のある事業所をまとめて登録できます。

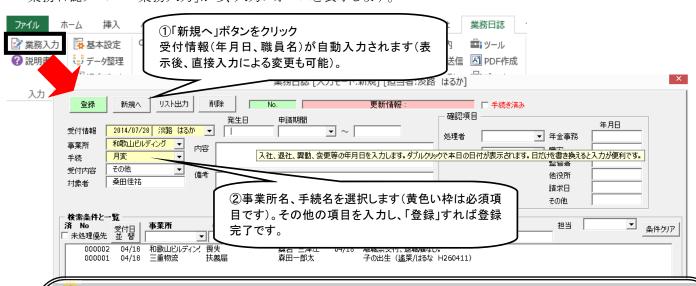
「入力補助」タブの事業所マスタ登録から、台帳で事業所ファイルを作成している事業所のファイル名を一括して登録ができます。

### ②基本設定タブでパソコンの使用ユーザーを登録

業務日誌を使用する場合は、パソコンごとに基本設定タブで使用する職員名の登録をおこなっておいてください。

## 「業務入力」で受付案件を新規登録

業務日誌メニュー「業務入力」から、入力フォームを表示します。

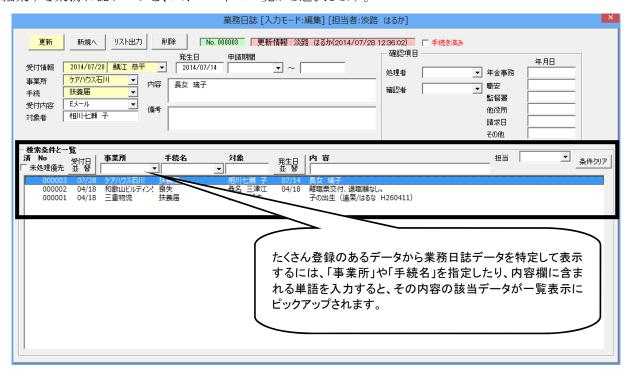


# ₩ 操作ヒント

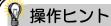
- 入力項目枠をクリックすると、入力ヒントが表示されます(上図例)。
- 業務入力をクリックして「担当者登録してください」のメッセージが表示される場合は、業務日誌「基本設定」で、そのパソコンをメインで使用する職員を登録してください。登録すると、そのパソコン端末に職員名が記憶され、新規登録時に自動的に受付の職員名が表示されるようになります。
- 入力必須項目(受付年月日、職員、手続名)以外は、すべての項目を入力しなくても構いません。 事務所内の管理ルールに合わせて適宜入力してお使いください。

## 以前登録した業務日誌データの再編集

①再編集する業務日誌データを、フォーム下の一覧から選択します。



②変更箇所を入力し、「更新」ボタンをクリックすれば再編集は完了です。



- 電子申請をした場合は、フォーム右側の確認項目は、申請した職員を処理者、電子公文書を取得した職員を確認者、電子公文書を取得した年月日日付を入力する、といった事務所内でのルールを設けるとしっかり管理ができます。
- 「リスト出力」でフォーム下に表示されているデータの一覧を印刷します。

# 業務日誌その他の機能



#### ● データ整理

すでに処理の終わった「済」データのうち、業務日誌で管理しなくなったデータを「整理」ボタンで過去データ に移動し、一覧に表示されないように整理します。この操作はデータ量に応じて適宜行ってください。「削除」 ボタンではデータ削除します(「整理」とは異なり、過去データで読み込めません)。

### ● 過去データ

「データ整理」により移動した過去のデータを、1件ずつ読み込んで確認できます。